

STAGE+を楽しむ(124)(HP 収載)
—グルダのモーツァルトピアノ独奏曲集—

1. 始めに

前報(123)に引き続き、STAGE+のグルダのモーツァルトピアノ独奏曲集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、グルダのモーツァルトピアノ独奏曲集の演奏を選びました。

グルダが奏でる珠玉のモーツァルトピアノ独奏曲集

中期・後期のピアノ・ソナタ、幻想曲

収録日: 1995年6月23日

オーストリアのピアニストであり、ジャズピアニストとしても知られるフリードリヒ・グルダ。彼はモーツァルトの音楽を重要なレパートリーとしており、同時に生涯の愛し続けていました。常に彼の奏でるモーツァルトには驚きと発見があります。本映像は1995年にミュンヘンのムッフアタレでライブ撮影されたものです。この公演では、ピアノ・ソナタ (K. 333 や K. 576 といった中・後期の名曲) や《幻想曲ニ短調》(K. 397) など、様々な独奏曲が演奏されました。慈しむように奏でられる美しいモーツァルトをお楽しみください。

ソリスト:

フリードリヒ・グルダ (ピアノ)

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ピアノ・ソナタ第12番へ長調 K. 332 より 第2楽章 : Adagio

幻想曲ニ短調 K. 397

ピアノ・ソナタ第13番変ロ長調 K. 333

ピアノ・ソナタ第18番ニ長調 K. 576

ピアノ・ソナタ第6番ニ長調 K.284 《デュルニッツ》 より 第1楽章 : Allegro



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

アナログでお馴染みのグルダの配信は初めてです。お得意のモーツァルトであり、お馴染みの曲ばかりです。

1995年の収録で、音は新鮮です。

グルダのモーツァルトはアナログで慣れ親しんでおり、煌めくような美しいモーツァルトで、そういったアナログの雰囲気に通じる場所があります。



4. まとめ

LANアキュライザーと Crstal EpL の効果により、アナログでお馴染みのグルダの輝くようなモーツァルトが聴けました。

以上